

「福島県いわき市から参りました。昨日の地方紙朝刊のトップニュースは何だと思われますか？」。大阪市中央公会堂で、私は持参した新聞を手に話しかけました。東北楽天ゴールデンイーグルスがリーグ優勝を遂げた翌日、九月二十七日の朝刊です。誰もが歓喜に沸く記事を思い浮かべたようでした。しかし、一面トップ記事は「福島第一原発港湾内フェンス破損」。福島の現実を伝えてくれて、選んだメッセージでした。

九月二十八日、「第三回社会イノベーター公志園」の全国大会開会式(社



61

いわきおてんとSUN
企業組合理事長
吉田恵美子さん

会イノベーター公志園300人委員会主催)が行なわれ、十六人の挑戦者にその一人でした』写真。

この事業は、社会課題を解決にさまざまな手法で挑み、未来を切り開こうとする社会イノベーター(変革者)たちを全国に発掘・育成・支援する事業です。この一人でした』写真。

し、その思いを各地で伝えることで共感と信頼の輪を広げ、より大きな変



福島を変革伝える旅

輪を広げ、より大きな変化を生み出すことを目指していきます。公志園の理

事務局は、少なからず会場の皆さまの胸に届いたようでした。この後、東京・京都・仙台

の後、名古屋と会場を移しながら、三月八日の東京で

寄り添いながらアドバイスをするというのがこの事業の特色です。

「いわきおてんとSUN企業組合」による福島再

建に共感する、企業の中堅幹部や経営者で構成さ

れるボランティアの伴走の後、東京・京都・仙台

の後、名古屋と会場を移しながら、三月八日の東京で

寄り添いながらアドバイスをするのがこの事業の特色です。

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結婚プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。

福島県いわき市で、農業再生のためにオーガニックコットンを栽培し、製品化する。自然エネルギーへの転換のために、市民コミュニティー電力を設立する。そして、こ

のチャレンジを伝える旅が始まります。

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結婚プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。